

当機構主要出版物

(価格は消費税込み)

紛争事例に関するもの

1 不動産取引紛争事例集(第3集)

一、五〇〇円

手付けと媒介の法的性質について論じたうえ、手付け・媒介・賃貸借等の最近の紛争事例について、前二集より深く掘り下げて研究した成果を、事実関係、解決結果、解説、要旨等にまとめたもの。

2 続・不動産取引紛争事例集

一、五〇〇円

3の前編とともに紛争が多発しているテーマごとに法的総論をまとめているほか、典型的な紛争事例について、概要、事実関係、解決結果、論評を簡潔にまとめたもの。

テーマ①媒介契約と媒介報酬請求権

②広告 ③現状有姿販売

④物の瑕疵 ⑤マンション分譲

3 不動産取引紛争事例集

一、五〇〇円

テーマ①重要事項の説明義務

②ローン特約

③交渉預り金、申込み証拠金

④履行の着手 ⑤買替え・下取り

◇ ◇ ◇

4 トラブルはこうしておきる

—不動産取引の紛争事例—(改訂版)

一、六〇〇円

編著 当機構

発行 俳週刊住宅新聞社

さまざまな一・二の紛争事例について、トラブルの内容、業者の言い分、相談窓口の考え、結末、トラブルから学ぶことの順にやさしく説明している。

判例に関するもの

5

宅地・建物取引の判例(5)
(平成三〜五年)

一、三〇〇円

平成三年から五年の間の判例について、事案の概要と判決を簡潔にまとめたもの。五三判例を収録。

6 宅地・建物取引の判例(4)

(昭和六十三〜平成二年) 一、五〇〇円

昭和六十三年から平成二年の間の判例について、事案の概要と判決をまとめたもの。五二判例収録。

7 宅地・建物取引の判例

(昭和六十〜六十二年) 一、二〇〇円

昭和六十年から六十二年の判例について、事案の概要と判決を簡潔にまとめたもの。四七判例収録。

8 報酬請求権に関する判例の要点

一、二〇〇円

媒介報酬に関する七六の判例を分類整理し、事案の概要、判旨を簡潔にまとめた。

9 宅地建物取引判例の要点

一、二〇〇円

宅建業者が当事者になっている昭和五十九年以前の二〇二の判例について、判例の要旨、事件の概要、争点、判旨について簡潔にまとめたもの。

◇ ◇ ◇

10

最近の判例から見た宅建業者の注意義務

五〇〇円

岡本 正治 弁護士講演録。専門家としての宅建業者の注意義務に関する最近の判例について講演された内容をとりまとめたもの。

11

最近における不動産取引の諸問題について

五〇〇円

飯原 一乗 弁護士の講演録。バブル崩壊、環境問題等最近多くなっている種々の問題に関し、判例を中心に講演されたもの。

契約書に関するもの

12

不動産売買契約の標準契約書式のあり方に関する報告と提言

(本版) 一、〇〇〇円

(要約版) 五〇〇円

不動産売買契約研究委員会(委員長 稲本洋之助 東京大学社会科学研究所教授)の調査研究の報告とそれに基づく提言。

13

不動産売買契約の標準書式のあり方について

五〇〇円

前記12について、とりまとめに当たられた左記二先生の講演録。

稲本 洋之助 東京大学教授

山野目 章夫 中央大学助教授

重要事項説明に関するもの

14

望ましい重要事項説明のポイント
—トラブルを避けるために—

一、六〇〇円

編著 当機構 発行 ㈱住宅新報社
紛争が最も多い「重要事項説明」について、最近の行政当局の考え方を踏まえ、紛争の未然防止のため、望ましいあり方について平易に説明したもの。

その他

新刊

15

宅地建物取引業法の改正と紛争の防止について

五〇〇円

建設省不動産課長補佐毛利信二氏講演録。今春から施行された宅建業法の改正について、紛争防止を目的とする部分を

中心にやさしく説明されたもの。

新刊

16

不動産広告の適正表示と紛争防止について

五〇〇円

(社)首都圏不動産公正取引協議会事務局長 関口信之氏講演録。広告をめぐる最近の紛争事例等を紹介している。

17

阪神・淡路大震災と不動産取引の問題点

五〇〇円

岡本正治弁護士の講演録。阪神・淡路大震災に伴い起きている売買・賃貸等取引に関する様々な問題点と罹災都市借地借家臨時処理法について、平易に解説されたもの。

18

不動産媒介契約のあり方についての提言

(本版) 一、〇〇〇円

(要約版) 五〇〇円

当機構が「不動産媒介契約研究委員会(委員長 稲本洋之助 東京大学教授)に委託して行った媒介契約の実態に関する調査研究の結果に基づく不動産媒介契約に関する制度および実務のあり方についての提言。